

カボスの反射資材敷設による果皮緑色向上

農業研究部・果樹グループ

1. 研究の背景

近年、カボスの青果量は減少傾向にあり、長期貯蔵向けの高品質カボスが足りず問題となっている。果皮緑色を濃くするには果実に日光を十分にあてる必要があるが、生産者の高齢化や大規模化等により細やかな管理作業が徹底されず出荷果実の品質が低下してきたため、省力的に果皮緑色を向上させる技術として反射資材敷設の効果を検討した。

2. 研究成果の内容・普及のポイント

- ・樹冠下に反射資材を敷設することで、裾部果実の果皮緑色向上効果が認められた。(図1、2)
- ・反射資材敷設区の果実は、対照(無処理)区に比べ貯蔵中の緑色保持も優れた。
- ・白王シートとタイベックシートの効果は同等で、シルバーマルチはやや劣った。
- ・反射資材敷設による果実品質への影響はなく(表1)、日焼け果も発生しなかった。(データ略)
- ・7月上旬頃から収穫期まで、白王シートやタイベックシートを樹冠下に敷設することで、日光の当たりにくい裾部果実に反射光、散乱光が当たり果皮緑色が向上するとともに、貯蔵中の緑色保持も優れた。反射資材の敷設は、カボスの果皮緑色向上、高品質果実生産に有効な手段であると考えられた。

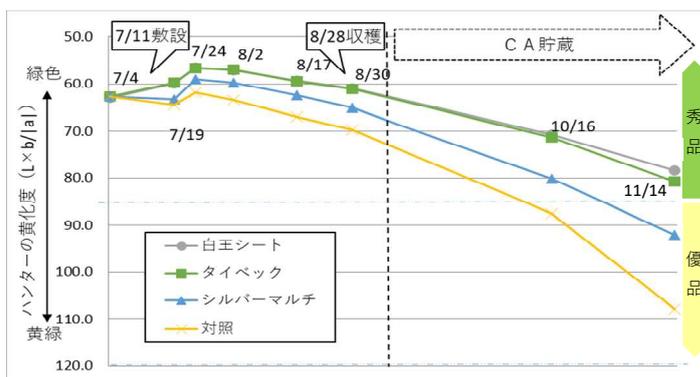


図1 反射資材敷設による果皮色変化 (2017年)
※裾部(50~80cm程度)の果実下面で色差測定。



図2 反射資材敷設状況
※被覆は7月上旬頃~収穫まで
雨水が入り、効率よく反射するよう
株元を50cmほど開けて被覆。

表1 貯蔵前後の果実内品質 (2017年)

	8月30日(収穫時)			11月15日(貯蔵終期)		
	果汁歩合 (%)	Brix (%)	クエン酸 (%)	果汁歩合 (%)	Brix (%)	クエン酸 (%)
白王シート区	33.2	10.5	5.95	22.3	9.1	4.53
タイベックシート 区	32.4	10.2	6.17	24.8	8.4	4.45
シルバーマルチ区	30.7	11.0	6.14	25.9	9.2	4.63
対照区	31.3	11.2	6.31	28.2	9.4	4.73

3. 期待される効果

- ・果皮緑色の向上による(貯蔵向け)青果率向上
- ・貯蔵果実の増加

4. 担当機関連絡先

農業研究部 果樹グループ カボス・中晩柑チーム
TEL: 0972-82-2837
住所: 津久見市津久見浦福3456

【参考】

各資材の特徴		
白王シート	水抜穴付	裏面は黒色で抑草効果あり
タイベックシート	ハード	柑橘で一般的に使用されている資材
シルバーマルチ	野菜用	価格は安いですが、薄く破れやすい